屋内用

ウォータークーラー

WT-1000

施工説明書

（社団法人 日本水道協会 認証登録品）

付 属 品

- 飲水受け …… 1個
- 十字穴付トラス小ねじ(M4×12) …… 3個
- 本体固定金具 …… 2個
- 前カバーストッパー …… 1個
- タッピンねじ(呼び4×10) …… 6個
  （本体固定金具用:4個、前カバーストッパー用:2個）
- 床固定用ねじセット
  （タッピンねじ(呼び4×25:4個)、プラグ4個） …… 1セット
- 給水メッシュ …… 1個
- メッシュパッキン …… 1個
- アース線 …… 1本
- 取扱説明書 …… 1冊
- 施工説明書 …… 本紙

目次

ページ

安全上のご注意 …… 1
- 設置上の注意事項

施工をされる前に …… 3
- 壁への取り付けに必要な工具
- 位置決め
- 放熱のためのすき間について

取り付け方法 …… 5
- 飲水受けの取り付け
- 床への固定
- 給水管の接続
- 排水管の接続
- アースの接続
- 前カバーの固定
- 通水確認

お問い合わせ窓口 …… 裏表紙

お問い合わせ窓口 サラヤ株式会社 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06(6797)2525

電話受付:平日(土日および祝祭日、弊社休日を除く) 9:00～18:00
URL:http://www.saraya.com/

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

SARAYA

安全上のご注意 1

ご使用の前に、この**「安全上のご注意」**を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。
本施工説明書で不明な点は、当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）までご連絡ください。

表示の説明

⚠ 警 告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷（※1）などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注 意	誤った取り扱いをしたときに傷害（※2）、または家屋・家財などの損害（※3）に結びつくもの

図記号の説明

⃠	絶対に行わないでください
●	必ず指示に従ってください

（※1）重傷とは、失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。
（※2）傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
（※3）損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

設置上の注意事項

⚠ 警 告

仕様に定める規格に従い設置、使用する。
規格外での設置･使用は、ケガや事故･故障の原因になります。

丈夫で水平な場所に確実に取り付ける。
設置上の不備があると、転倒によるケガや故障、誤作動の原因になります。

取り付け・移設は、必ずお買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
取り付け上の不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所には取り付けない。
感電や火災、故障の原因になります。

気温が氷点下になる、低温の場所には取り付けない。
誤作動や変形、故障の原因になります。

火気や火花が出る器具の近くには取り付けない。
変形や故障、火災の原因になります。万一に備えて近くに消火器を設置してください。

直射日光の当たる場所、高温になる場所には設置しない。
直射日光や調理･暖房器具などの熱影響を受けて冷却力が弱くなります。

油やガスの漏れる恐れのある場所には取り付けない。
万一、油やガスが漏れて製品の周囲に溜まると発火の原因になります。

設置上の注意事項（続き）

⚠ 警 告

電源プラグを本体で押し付けない。
電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になります。

設置場所により漏電ブレーカーの取り付けが必要。
取り付けられていないと感電の原因になります。お買い求めの販売店または専門業者にご依頼ください。

アースを確実に取り付ける。
取り付けられていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。アース工事は必ず販売店にご依頼ください。

⚠ 注 意

配管接続部は確実に締め付ける。
取り付け上の不備があると、水漏れや液漏れの原因になります。

施工をされる前に 3

設置の際は、専門の技術が必要ですので、お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）か、地域の水道局指定の水道工事店にご依頼ください。（取付工事は有料です）

- ●給水源には、必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適合した飲料水をご使用ください。
- ●給水圧は、0.2～0.8MPa（静水圧）の範囲でお使いください。
- ●設置場所については、設置上の注意事項に従いお客様の同意を得てから設置してください。
- ●電源はAC100V（50/60Hz）、最大消費電力は82/86W（50/60Hz）です。
  必ずこれに適した配線を行ってください。
- ●電源コードの長さは約1.8mです。
  電源コンセントはこれに適した位置で、なおかつ水のかからない位置に設けてください。
- ●開梱や取り付けの際、製品を傷付けたり汚したりしないでください。誤作動や作動不良の原因になります。
  また、汚れたままにしておくと、付着痕や腐食などの原因になります。
- ●電気製品なので絶対に水をかけないでください。
- ●製品は施工図にもとづき、必ず正しい向きに設置してください。
- ●施工完了後はお客様に本紙の内容をよくご説明ください。

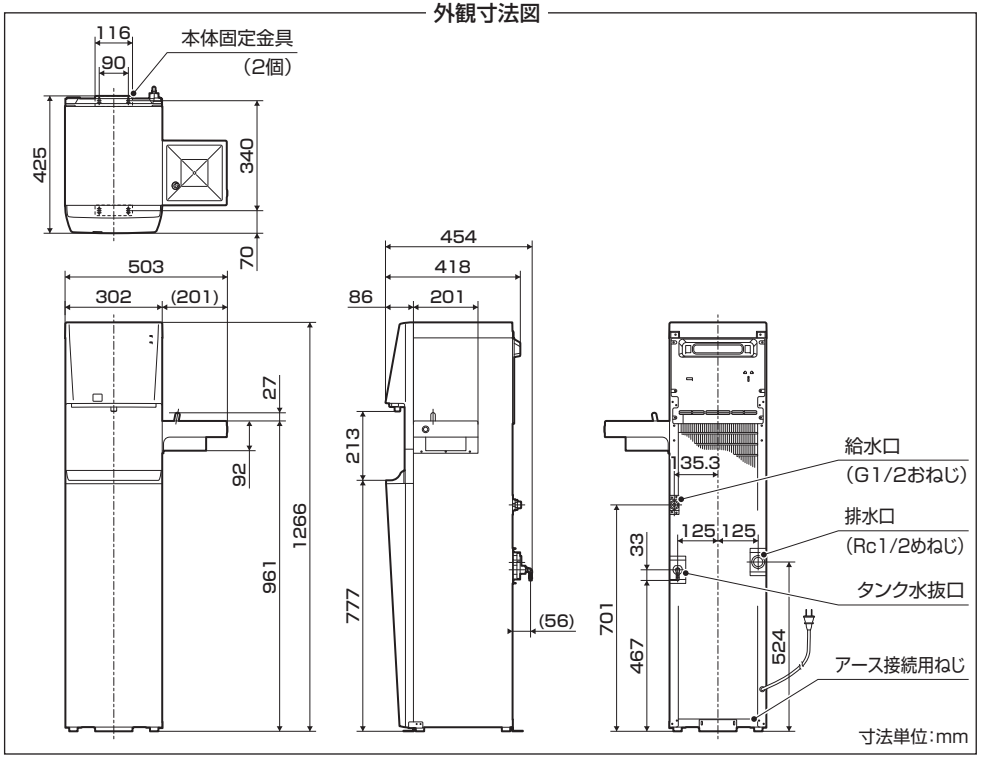
壁への取り付けに必要な工具

- ●プラスドライバー
- ●電動式ドリル（振動ドリル）
- ●配管用防食シール剤（ヘルメチック）
- ●メジャー、ものさし等
- ●プライヤー
- ●φ2.5ドリル刃
- ●シールテープ
- ●水平器
- ●モンキレンチ（呼び375）
- ●φ6ドリル刃
- ●マスキングテープ

位置決め

取り付けに適した場所を十分に確認し、配管や放熱のためのすき間を見込んで位置を決めてください。

外観寸法図



放熱のためのすき間について

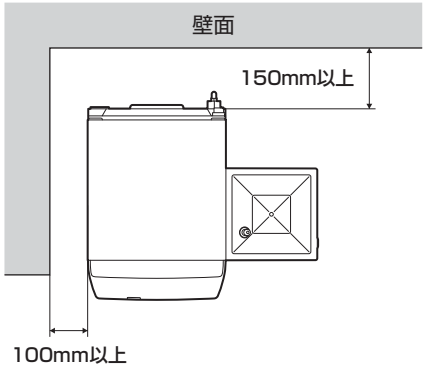
製品の周囲には、図のようなすき間を取ってください。
すき間を取らないと冷却力が弱くなります。

左側面は100mm以上、背面は150mm以上、壁から離して設置してください。

右側面は、飲水ノズルスイッチを押す際の手を入れる空間や、飲水の空間を十分に確保してください。

注 意

背面はカバーなどで覆わないでください。



≪上から見た図≫

取り付け方法 5

飲水受けの取り付け

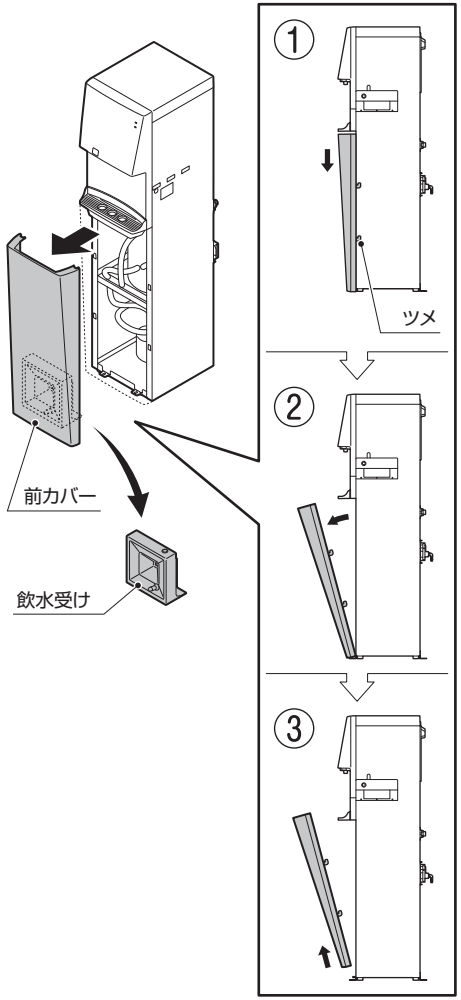
(1) 飲水受けの取り出し

①前カバーを下に押し下げ、ツメを外します。

②上部を手前に引きます。

③前カバーを持ち上げるように取り外します。

④本体内に収納されている飲水受けを取り出します。



(2) 飲水受けの取り付け

①排水ホースを本体内に入れます。

②給水ホースを給水ホース継手に接続します。

注 意

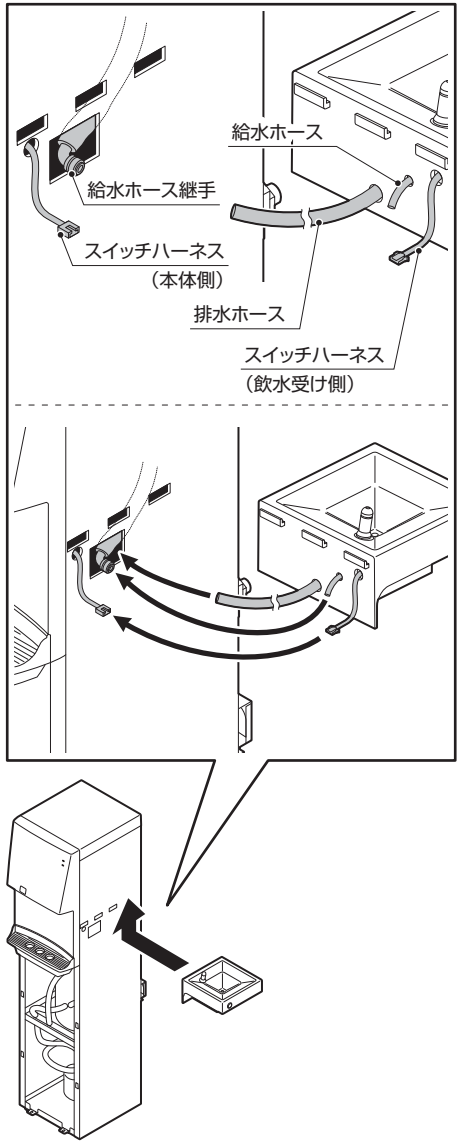
給水ホースは、奥まで確実に差し込んでください。

③スイッチハーネスを接続します。

④飲水受けを本体に差し込み、押し上げます。

注 意

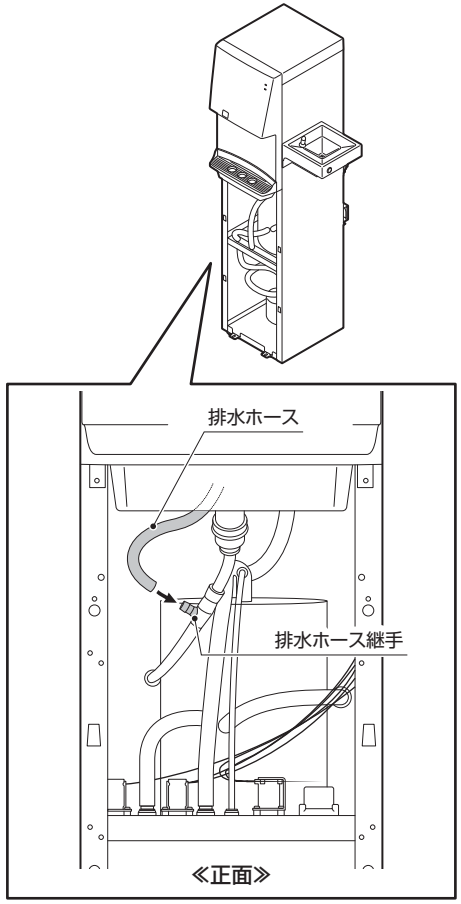
飲水受けの取り付けは、取り付けねじの穴が合う位置までしっかり押し上げてください。



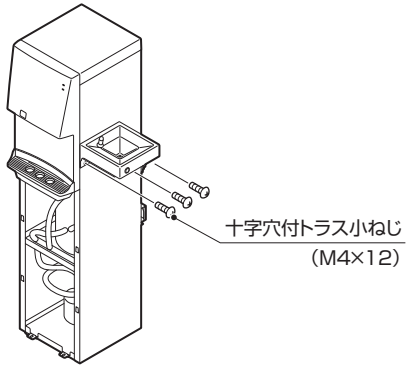
⑤排水ホース継手に排水ホースを接続します。

注 意

排水ホースは、奥まで確実に差し込んでください。



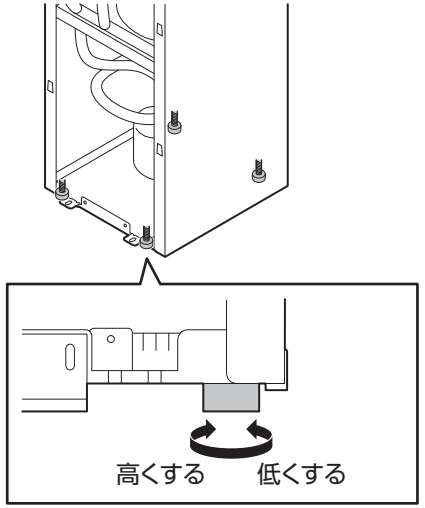
⑥十字穴付トラス小ねじ（（M4×12）3個）で固定します。



床への固定

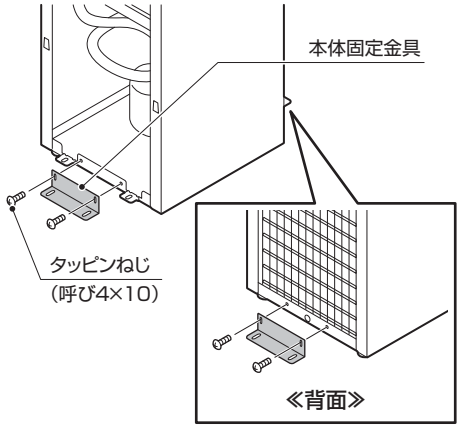
【1】本体の水平調整

アジャスターで、本体が水平になるように調整します。



【2】本体固定金具の取り付け

タッピンねじ（（呼び4×10）4個）で、本体固定金具を取り付けます。

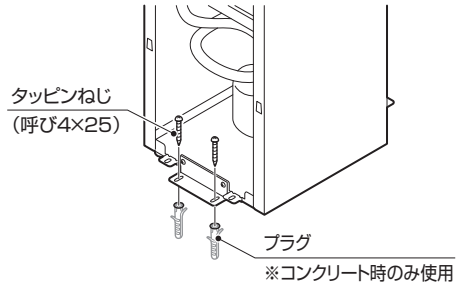


【3】床への固定

床固定用ねじセット（タッピンねじ（呼び4×25）4個、プラグ4個）で固定します。

注 意

背面の本体固定金具も固定してください。



本製品は元止式です。	ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続して使用すると、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンクの亀裂、水漏れの恐れがあるので、改造して使用しないでください。

給水管の接続

【1】配管類の洗浄

給水元の配管類を十分に通水し、ゴミなどを洗い流します。

注 意

配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これらが混入すると給水メッシュが詰まり、「水の出が悪くなる」「異臭を放つ水が出る」といったトラブルの原因になります。

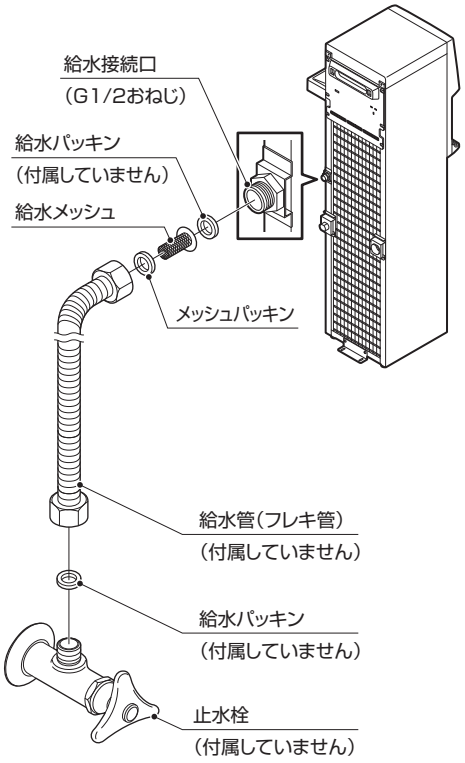
【2】給水管の接続

給水管（フレキ管）で、給水接続口（G1/2おねじ）と止水栓を接続します。

※図は配管の一例です。

注 意

- ●必ず止水栓を設けてください。（周囲温度が氷点下になる場合は、水抜機構のついた止水栓を使用してください）
- ●給水メッシュは忘れず確実に取り付けてください。
- ●各接続部分には給水パッキンを使用し、水漏れがないよう確実に取り付けてください。
- ●必ず付属の水抜口継手を取り付けてください。
- ●給水管、給水パッキンは付属していません。お客様側にてご用意ください。
- ●接続する給水管は滞留水を少なくするよう、できるだけ短くしてください。



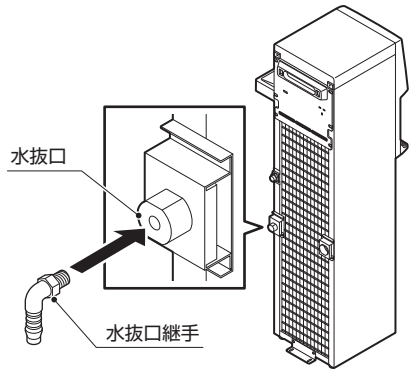
排水管の接続

【1】水抜口継手の取り付け

水抜口に水抜口継手を取り付けます。

注 意

- ●ノズルが下向きになるように取り付けてください。
- ●取り付けの際はシールテープを使用し、水漏れがないように取り付けてください。



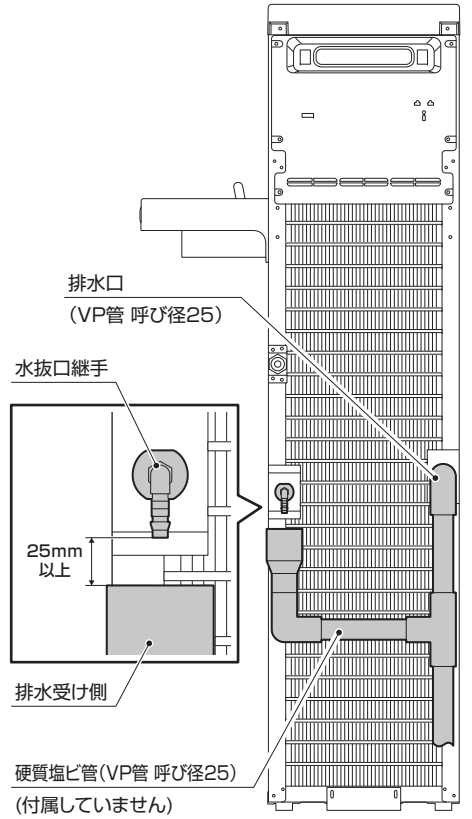
【2】排水管の接続

硬質塩ビ管（VP管呼び径25）を用いて接続します。

※図は配管の一例です。

注 意

- ●水抜口継手と排水受け側の間に必ず25mm以上の空間を空けて、逆流を防止してください。
  防止しないと排水の水が逆流し、冷却タンク内が汚染される恐れがあります。
- ●排水の配管は本体の排水口および水抜口よりも位置を高くしないでください。
- ●排水の配管は真下に向けてできるだけ短くし、曲がり部分および管の接続部分をできるだけ少なくしてください。
  また、途中でパイプの径を細くしないでください。
- ●取り付けの際、必要に応じて排水トラップを設けてください。
- ●取り付け完了後には必ず通水（取扱説明書5ページ「運転開始方法」参照）を行い、十分な排水能力が確保されているか確認してください。
  通水（自動洗浄）中は給水口から供給される水が、約7分間水抜口から排水されます。



≪背面≫

アースの接続

必ずアースを取り付けてください。

特に水気や湿気の多いところに設置する場合は、アースのほかに漏電ブレーカーの設置が義務付けられています。

次のようなところにアース線を接続しないでください。

①水道管

…感電の危険があります。

②ガス管

…爆発や引火の危険があります。

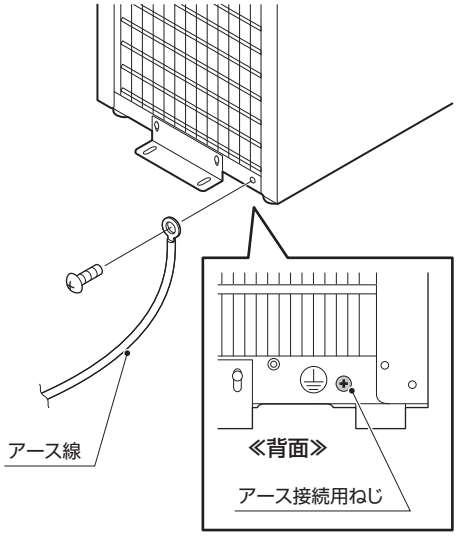
③電話線や避雷針のアース

…雷のとき大きな電流が流れて危険です。

【1】本体への接続

①アース接続用ねじを取り外します。

②アース線を通し、取り付けます。

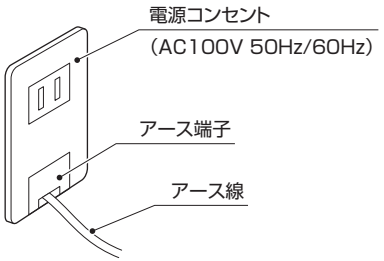


【2】アース端子への接続

アース線をアース端子へ接続します。

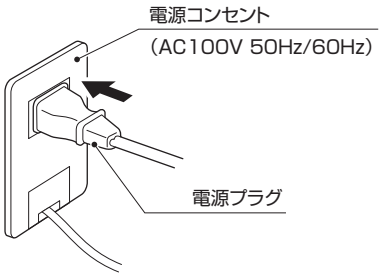
≪アース端子がない場合≫

D種接地工事を行ってください。
D種接地工事については、お買い求めの販売店または当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）にご依頼ください。



通水確認

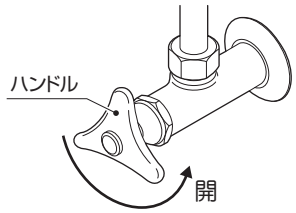
①電源コンセントに電源プラグを差し込みます。
（運転ランプが点灯します）



注 意

- ●電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。
- ●スイッチを押したまま電源を入れないでください。
  テストモードに入ります。
  誤ってテストモードに入った場合は、電源プラグを抜き、電源プラグを再度コンセントに差し込んでください。
- ●一度電源プラグを抜いたあと運転を再開する場合は、3分以上あけてから電源プラグを差してください。
  すぐに運転を再開すると運転がうまく行われず、冷却ユニット（コンプレッサー）がガタガタと音をたてることがあります。
  このような状態になったときはすぐに運転を停止させ、3分以上あけてから運転を再開してください。

②止水栓のハンドルを全開にします。



注 意

- ●止水栓のハンドル操作はゆっくりと行ってください。

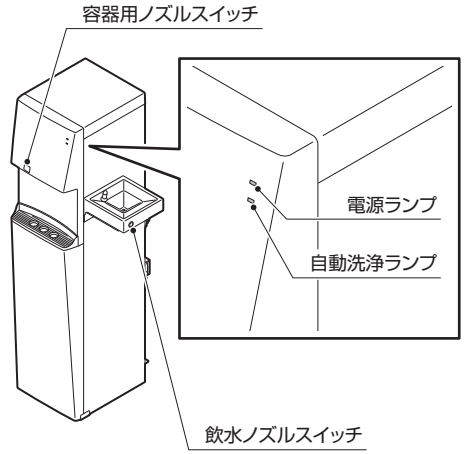
③電源を入れると運転を開始します。

自動洗浄表示ランプが点滅し、約7分間冷却タンク内および各配管内の水の入れ替え（自動洗浄）を行います。

注 意

自動洗浄の最後約5秒間は、飲水ノズルから吐水します。
故障ではありません。

④自動洗浄後、容器用ノズルスイッチと飲水ノズルスイッチを押して水を吐出した際に、各接続部から水漏れがないことを確認します。

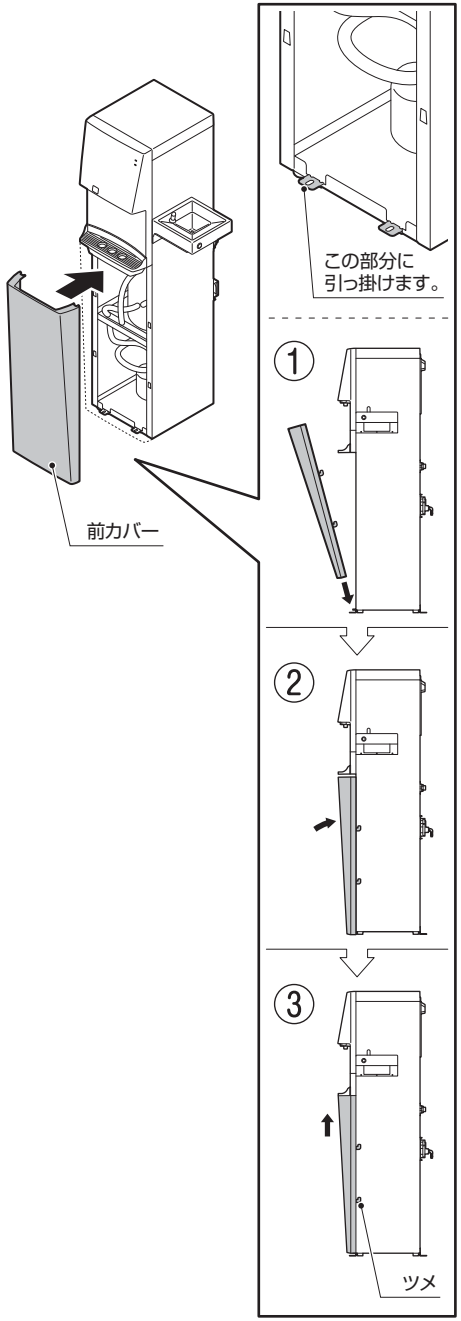


前カバーの固定

①前カバーを図のように引っ掛け、下に押し下げます。

②本体に合わせます。

③前カバーを上げ、ツメを掛けます。



④タッピンねじ（（呼び4×10）2個）で、前カバーストッパーを取り付けます。